

2003 年度上期国内 PC (IA) サーバ出荷状況調査報告

ノークリサーチ (本社〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5 : 代表伊嶋謙二 03-5629-2163、URL : <http://www.norkresearch.co.jp>) では 2003 年度上期の国内 PC (IA) サーバの出荷状況を調査した。2003 年度の予測も併せて調査、報告している。

<2003 年度上期 PC (IA) サーバ市場のポイント>

2003 年度上期 PC (IA) サーバ市場は再び増勢で、上期で過去最高の出荷実績

- 台数では対前年比 16%アップで、165,600 台の市場へ

- 金額市場は 5.2%ダウンで、サーバの低価格化はさらに加速

メーカーシェアは NEC 25.4%で 1 位、好調富士通がデルをかわして再び 2 位へ

インターネット関連とエントリサーバ需要の IT インフラの投資意欲が高い

景気の底打ち感から投資意欲増加。自治体需要も後押し

ラック (薄型) サーバは好調で全体の 42.7%を占める。ブレードは 04 年度以降に本格化

2003 年度は 15%増の 356,600 台と見込まれる

IT 投資減税、Windows2003 の出荷、Y2K 導入サーバのリプレースが 2003 年度市場の追い風

対象期間 : (2003 年度上期実績) 2003 年 4 月から 2003 年 9 月

(2003 年度予測) 2003 年 4 月から 2004 年 3 月

対象メーカー : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 自主統計参加及び未参加メーカー

日本電気、富士通、デルコンピュータ、日本 IBM、日本 HP、

日立製作所、東芝、三菱電機など

対象機種 : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 定義に準ずる

調査方法 : 当該メーカーに対する直接取材及び弊社データベースによる分析

調査期間 : 2003 年 10 月 ~ 11 月

[2003 年度上期出荷状況]

- 対前年比 16.1%アップで、上期過去最高の 165,600 台市場へ -

2003 年度上期は対前年比 16.1%アップで、上期過去最高の 165,600 台市場となった。2002 年度までの景気停滞の影響で買い控えが目立った市況が、2003 年度に入り投資意欲が上昇したことが要因だ。全体的な景気回復傾向を反映した心理的な投資の緩みが見られる。特に中堅から大手企業を中心に情報系サーバの増設利用が目立った。

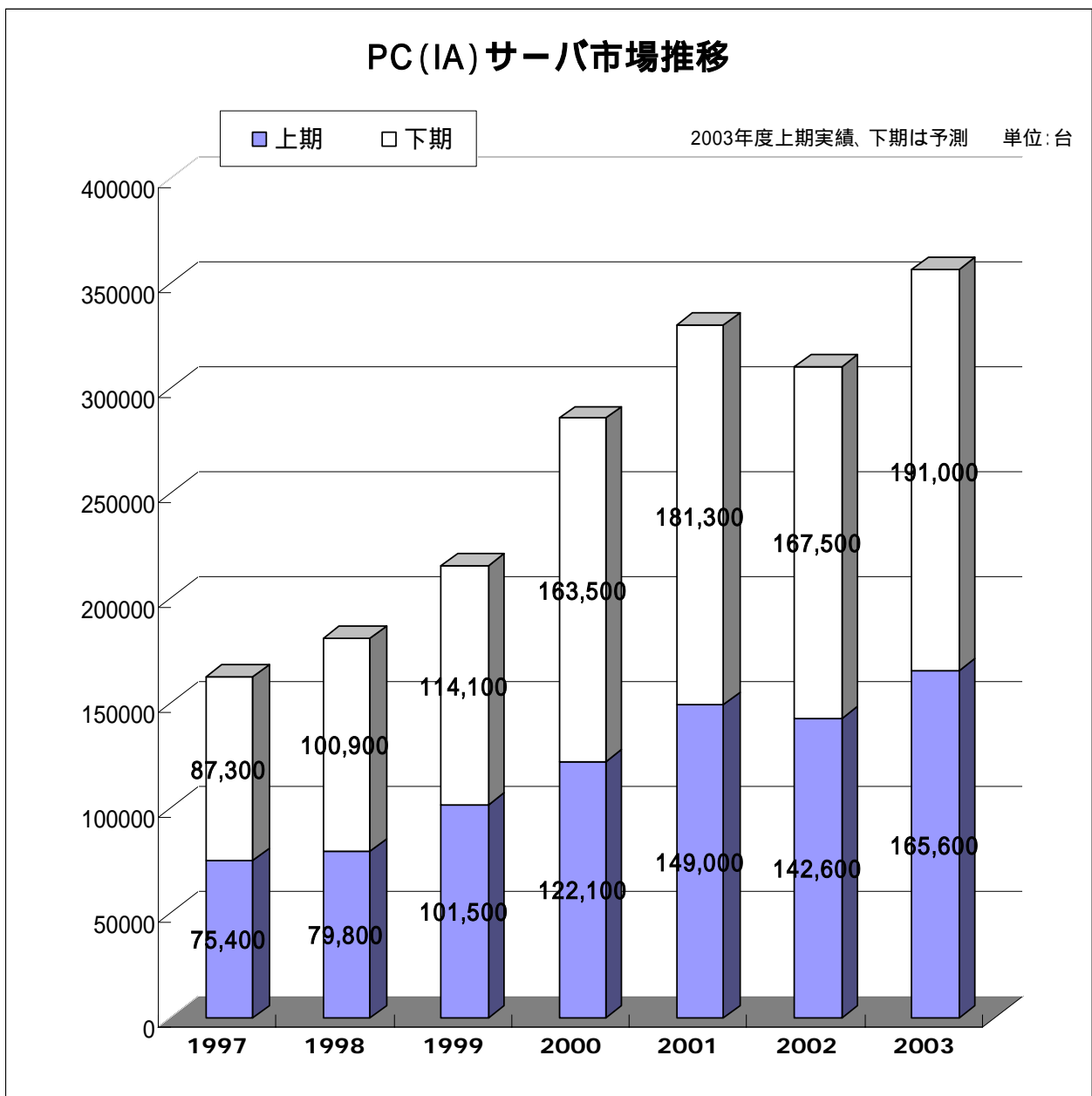
また IT 投資減税、WindowsNT から Windows server2003 へのリプレース、Y2K 導入企業のサーバ見直し需要なども好調を支えている。

業種別ではまだら模様ながら、製造業では自動車産業、金融では地銀、証券、病院の電子カルテ需要などが好調な分野として目立った。また地方自治体での E ジャパン関連の需要も好調だった。

金額市場は、低価格サーバの需要が高いことと、ベンダ間の低価格化戦略が功を奏し、平均単価の下落傾向が進んでおり、金額市場では 5.2%ダウンの 1,223 億円となっている。

PC(IA)サーバ総出荷台数推移/予測(97年度から2003年度)

	上期	前年同期比	下期	前年同期比	合計	前年比
1997年度	75,400	151.4%	87,300	124.0%	162,700	135.4%
1998年度	79,800	105.8%	100,900	115.6%	180,700	111.1%
1999年度	101,500	127.2%	114,100	113.1%	215,600	119.3%
2000年度	122,100	120.3%	163,500	143.3%	285,600	132.5%
2001年度	149,000	122.0%	181,300	110.9%	330,300	115.7%
2002年度	142,600	95.7%	167,500	92.4%	310,100	93.9%
2003年度	165,600	116.1%	191,000	114.0%	356,600	115.0%



[2003年度上期メーカーシェア]

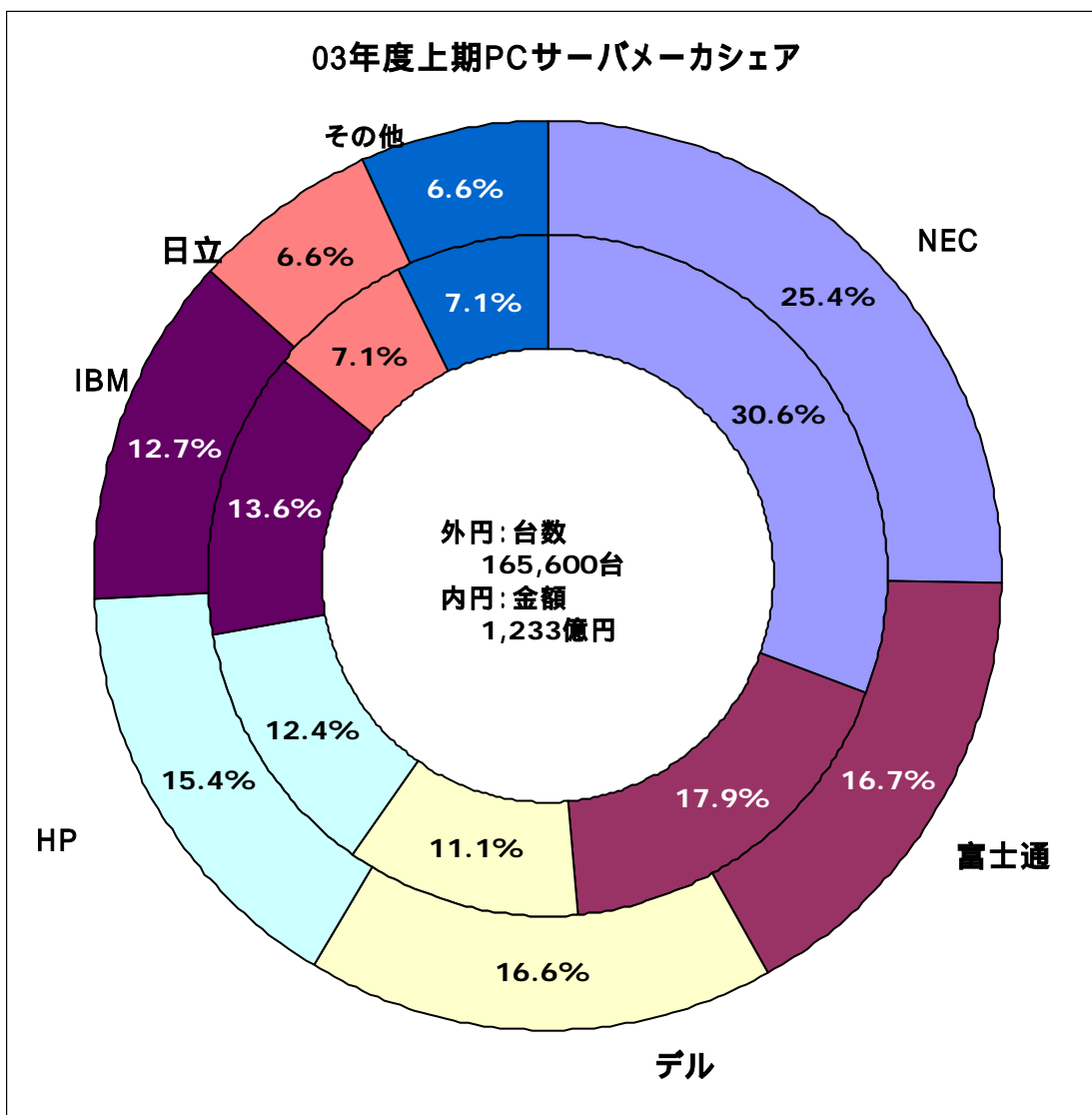
- NEC トップ。2番手には富士通が返り咲き

メーカーシェアでは NEC が依然トップ。25.4%のシェアで2番手以下を引き離している。地域販売店のチャネル販売と安定した直販力と幅広い製品対応、多くの既存ユーザの実績による安定感が同社の強みだ。以前のような目立った大口需要はなかったが、全国のチャネルでの中堅・中小企業向けのエントリ系サーバの展開と基幹系システムの攻略という地味だが確かな展開で、着実にシェアを維持向上している。

次いで富士通がデルを僅差でかわして再び16.7%で2位に返り咲いた。富士通は上期終盤における自治体向けの受注活動が好調だった。あわせて NEC 同様にチャネルによる地道な販売が底支えをしている。

デルは大掛かりな広告展開と WEB や電話による直販で企業の情報系サーバに狙いを絞った展開で好調を維持している。16.6%のシェアで3位だ。直販だけでなく、ユーザからの指名による、SI、販売店系での実質的なチャネル販売も目立ってきている。

HP はようやく合併後の組織改革や製品展開が明確な戦術となって表れてきており、大きく実績を回復している。特にデルとの一騎打ちの形での低価格戦でも健闘し、対前年比37%アップのシェア15.4%と2番手グループの仲間入りを果たした。



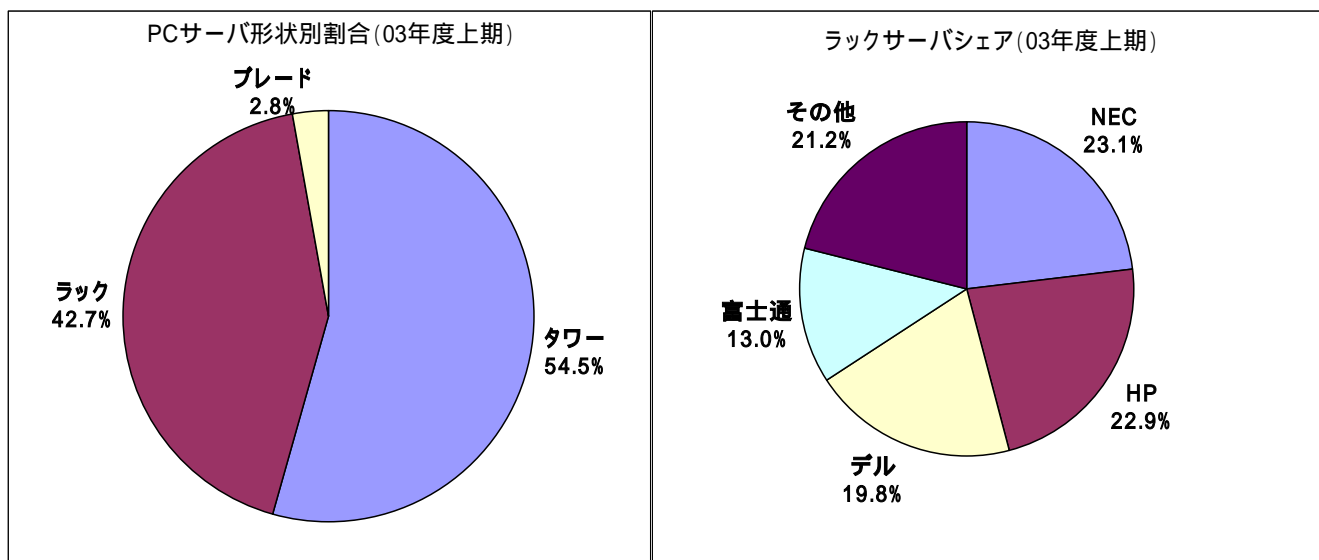
[2003年度市場展望]

- 対前年比15%の伸び、356,600台 -

2003年度は引き続き業種や地域によって景気の影響を受けてまだら模様の出荷状況になると思われるが、低価格サーバを中心とする中堅・中小企業向けのソリューション、特にインフラ系の導入がまだまだ活発のため引き続き安定した需要が見込まれる。また形態的にはラック型サーバ(薄型サーバ)は好調に推移しており、企業規模に関係無く安定的に需要が拡大している。ラック型サーバは2003年度上期で全体の42.7%を占めた。

ブレードサーバは大学、研究所を中心としたクラスター的な用途から一般企業へサーバ統合的な導入が見られ始めているが、市場の本格化は評価の定まる2004年度以降と思われる。

全体の市場見込みでは、2003年度に入ってから景気の底打ち感による投資意欲が上昇しており、大手企業を中心とするリプレース、増設需要が活発化している。またY2K時に導入したサーバがリプレース時期を迎えたことと、Windows server 2003の出荷開始、IT投資減税の施行等が市場の再活性化の追い風となっており、2003年度の増勢傾向は下期も続き、前年度対比15%増の356,600台と予測される。



当調査データに関するお問い合わせ



ノーク・リサーチ
 担当：伊嶋 謙二 いしま
 e-mail: pressr@norkresearch.co.jp
 〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5
 電話 5629-2163 FAX 5629-2164
 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>